

# SDGsで人材育成



## 全教科関連付け意識高める

県立一色高校(村瀬正幸校長)は地域の未来を創る人材育成に向け、国連が環境保全や差別のない社会などの目標達成をめざす「SDGs」持続可能な開発目標の取り組みを始めた。全教科と関連付けした授業をはじめ、ホームルームや学校行事などを通して、全日制と定時制の全校生徒がそれぞれ目標を立てながら行動する礎を育んでいく。

来年度の創立70周年への  
プレ企画として「一色高校  
×SDGs」を推進。導入

初年の本年度は居心地のよ  
い校内環境づくりを進め、  
今後の継続的な地域社会づ  
くりの展開を目指す。県教  
委からは本年度「知己の未  
來を創る人材育成事業」の  
認定を受けた。

同校は取り組みに向けた  
六つの行動主体としてHR  
と委員会、1学年、2学年、  
生活デザイン科、情報ビジネ  
スコースを組織。生徒ら  
はSDGsと関連付けた各  
教科の授業で地域でのSD  
Gs活動をはじめ、情報社  
会における持続可能なビジ  
ネス、健康、気候変動など  
への学びを深めながら、自  
らの足元から地域へと活動  
ステージを広げていく意識  
を高める。11月12日の文化  
祭では目標を掲げるための

指針となる中間発表会を行  
う。

一年生約200人を対象  
にした音楽科授業では、担  
当の辻春名教諭がSDGs  
の目標の一つである「人や  
国の不平等をなくそう」へ

の理解で、世界中の誰も樂  
しめる音楽の素晴らしさを  
紹介。民族音楽などを学ぶ  
全3回のカリキュラムを進  
めている。二日目となつた  
8日の授業は特別講師に迎  
えた小牧市在住のピアニス  
ト、中島舞さんから、生徒  
らが時代を越えて愛され  
クラシックの名曲について  
学んだ。

【写真は、辻教諭と講師の  
中島さんのピアノ連弾を撮  
した生徒ら】

# 教科学習にSDGs

## 一色高 創立70周年のプレ企画



中島舞さん（左）と辻春名教諭の連弾に見入る生徒たち

時間目は楽曲に関わる知識を学ぶことにしており、二時間目の授業が今月

八日に行われ、講師に混声合唱団コーカサス専属のピアニスト中島舞さん（小牧市）を迎える。モーツアルトやベートーベン、ショパンの出身国や代表曲、作曲の背景や思いなどを学んだ。一部の曲を中島さんがピアノで演奏したり、音楽科の辻春名教諭との連弾を披露したりして、SDGsの目標「質の高い教育をみんなに」などを踏まえて豊かな感性を育む一助にした。こうした事業の中間発表会を、十一月十二日の文化祭に合わせて行うことにしている。教科の学習だけではなく、ホールルーム活動、体育祭・文化祭総合的な探究の時間等も活用して、生徒の学びをいつそう深めたい」と話している。

国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けた人材育成を目指し、県立一色高等学校（村瀬正幸校長）では、来年度迎える創立七十周年の「一色高校版SDGs」を目標と関連付けた教科學習を展開している。八日には一年生を対象に、プロのピアニストを招いた授業が行われた。SDGsの十七の目標達成が二〇三〇年となることから、同校では県教委の「地域の未来を創る人材育成事業」の認定を受け、全日制も定期制も含めた全ての教育活動を、SDGsと関連づけた。

付けて展開することにした。居心地の良いホームルームや校内環境づくり（一色高校版SDGs）から、地域社会づくり（地域版SDGs）に向けて行動する六つの行動主体として、ホームルーム委員会、一年生、二年生、三年生は、多面的・多角的に物事が捉えられる主権者意識の醸成を図ろうと考えている。この全体像を教科科目の学習に関連付けよう。